

東芝テックOB会だより

第28号

2014年8月12日



会員の広場

生涯学習の楽しさを求めて ～澤津 敏彦さん～

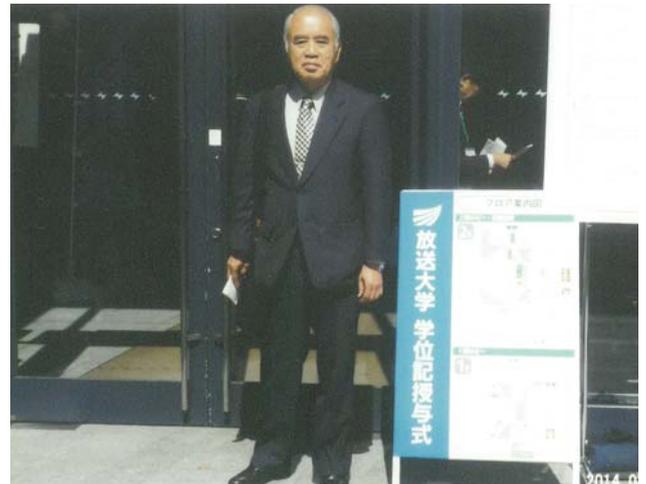
退職後の私の20年

歳月が経つのは早いもので退職後満20年経過し私も後期高齢者と呼ばれる年齢になりました。

この間様々な人生経験を重ねてきましたが、この20年を振り返りながら近況の報告を致します。

退職後の約5年間はリニューアルオープンした伊豆洋らんパークで営業の仕事をさせて頂きました。製造業からサービス業への転身は未知の世界でとても新鮮でした。人との関わりが多いこの業界はたえず周囲への気配りが必要であり、いま流行の「おもてなし」の心の大切さを学びました。

約5年間勤務したこの職場も60歳で2回目の定年退職を迎えました。しかし、気力も体力もまだまだ残っておりリタイヤする年齢には少し早いので資格社会の中で再就職に有利であることを鑑み通称「宅建」と呼ばれる資格取得にチャレンジすることにしました。沼津にある日建学院に約



8ヶ月通い今から15年前の平成11年度の試験で無事宅建の資格を取得することができました。

宅建の資格を取得したことよりその後は不動産業に約10年間従事することになるわけですが、この業界も人との関わりということではサービス業と重なる部分もありますが、賃貸の業務に加え人の大切な土地、建物等の財産を扱う不動産業はとても責任の重い仕事です。トラブルも多く毎日が緊張の連続でしたが、取引がスムーズに成立した時にはお客様に感謝され、苦勞もありましたがやり甲斐のある仕事でした。

これまで製造業、サービス業、不動産業と全く異なる業界を変遷し無我夢中で働いてきましたが気がついたら70歳という年齢になっていました。このまま仕事人間で人生が終わるのも何か虚しく「何がやり残したことがあるのではないかと」と自問していた折に、以前、先輩の寺田雄三さんか



ら放送大学への入学を勧められた事を思いだし、「そうだ放送大学へ行こう！」と入学を決意しました。寺田さんは現在も放送大学の同窓会の会長としてリーダーシップを発揮され活躍中です。

放送大学の学習センターの殆どが県庁所在地にあります。何故か静岡学習センターは三島駅北の県立長陵高校の2Fにあり、私の家から車で30分程で行けることもラッキーでした。

放送大学の学習カリキュラムは今の時世に沿った内容の6コースが用意されており、私はその中より以前から興味があった「人間と文化」コースを専攻し学ぶことにしました。

放送大学は4年間以上在籍した上で、各コースの専門科目を60単位、面接授業を20単位、外国語科目を6単位、その他合計で124単位以上取得することが卒業要件で最長で10年間は在籍可能です。

しかし、70歳で入学した私は鬼籍に入ってしまうと卒業証書がもらえないのでのんびりと学習することは許されません。それで何としても4年で卒業したいという思いで学習計画をたてたものの日増しに物覚えが衰える現実の中で4年間で卒業できる自信は正直なところ全くありませんでした。

学習方法は基本的には教科書に基づくテレビのBS放送とラジオの第2放送での通信教育ですが近年はインターネットでの配信も始まり学習方法がとても多様化し楽になりました。

他の通信教育と異なり放送大学の一番の魅力は何といっても面接授業です。全国の9万人弱の学生の大半が現役の社会人であることから全国各地の学習センターでの面接授業の殆どは土、日にかけて2日間行われます。放送大学に登録されている大学教授による専門ノウハウを駆使しての熱心な講義はとても刺激的で脳が活性化されます。また同じ志を持って受講する学生とは老若男女を問



わずすぐに仲間になれることも楽しいことで、人の輪が大きく広がります。

私は約3000科目ある面接授業の中から興味のある科目を選び、毎年旅行をかねて全国各地に出かけ受講するのがとても楽しみで、昨年秋は家族も同伴し群馬県や石川県の学習センターで面接授業を受講し受講後は伊香保温泉や能登半島の温泉にたち寄り疲れを癒しました。

そんな中で、家族や周囲の協力もありこの3月に所定の単位を取得でき、3月21日東京渋谷のNHKホールで開催された、設立30年の節目となる学位記授与式（卒業式）を迎えることができました。この4年間は結構長い道程のような思いもありますし、あっという間に過ぎたような気もしますが快い達成感がありました。

しかし、これは通過点と考え4月からは新たに「心理と教育」のコースに再入学しました。放送大学で学んだ中国語は現在も毎週1回、台湾人の講師について勉強しております。またこの4月からは絵画の教室にも通い始めました。

幕末の儒学者「佐藤一斎翁」の言志晩録の中に「老いて学べば死して朽ちず」という有名な一節がありとても励みになる語録です。しかし現実には「日暮れて道遠し」の諺があるように中々思うようには行きませんが健康が許す限り、生涯学習を継続する中で学んだ知識を活かし、何か社会で貢献出来ればと思う今日この頃です。



75歳まで働き人生を楽しく ～清水富平さん～

東京電気の技術課に採用され、大仁工場の実習生からスタート。阪神淡路大震災のとき神戸で勤務。

最後はTEでテック約40年の仕事を終えました。60才でヘルパーの資格を取り、老後のことを現場で体験させてもらい、「健康で長生き」の大切さを実感しました。財団法人こうべ市民福祉振興協会で8年間、温泉健康センター・介護施設、いくせいの損害者指導員として勤務。

その後、県営の淡路園芸景観学校に1年間車で通学し、「花と緑の地域づくり講座」を修了しました。

貴重な体験は、須磨で大正時代に造営された「西尾邸庭園」の松の剪定作業実習で、手足が震えたのを懐かしく思い出します。今も近くの公園の花壇整備ボランティアで汗を流し、有馬でパート勤務しています。報告できる事としては、1999年12月、27回ハワイ・ホノルルマラソンに参加、完走できたことです。とても感動しました。良き思い出です。また、近くのABC篠山マラソンには5回挑戦し、2回完走、3回リタイアですが、自分のペースで走るのが楽しみの一つです。

その他に週1回、神戸中央市場の料理教室で若い女性に囲まれ、エプロン姿で包丁を持って実習奮闘中です。初めての魚のさばき方から旬の魚とメニューが多く、気分転換を楽しんでいます。

自分で料理した刺身やソテーを皆んなで雑談しながら食べれるので仲間も増えました。ひとつ



ビックリしたのは、「鯛の骨せんべい」を作ったことです。皆さんもきつと鯛のあの硬い骨が・・・と。それが綺麗に下処理し、油で揚げるとパリパリの酒の摘みに変わりますよ！

山歩きも近くの丹波・但馬・六甲の山々を妻や孫達と日帰りハイキングです。今まで歩いた山は、丹波多紀アルプスの三尾山、近くの北摂は大船山、羽東山、冬の奈良高見山、鉢伏山等で、特に今年中に六甲全山縦走コースに挑戦し、須磨浦公園から東の宝塚まで56kmを完歩する計画です。

日頃鍛えた体力と精神力を発揮、自分の力で、自分の責任で、楽しく厳しく歩いてみたいと思って、7月には六甲山頂まで歩き、後半は9月からスタートの予定です。春夏秋冬で同じ山でも色々と景色を変えてくれます。人生も残り少なくなって来ましたが、過去を振り返ると多くの人との出会いに恵まれ、苦しい時もありましたが、今日までどうにか平凡な生活が送れています。

現在のボランティア活動でのナルクは自立・奉仕・助け合いをモットーに老々介護にも汗を流し、社会還元頑張っている毎日です。

最後に、東芝テックOBの皆様のご健康を祈念申し上げます。



HONOLULU MARATHON
December 12, 1999



私の思い出と近況報告 ～池本節二さん～

私も今年で古稀を迎え、いわゆる高齢者の仲間入りとなりました。

振り返るに、夢と希望に満ちた学生時代の思い出を胸に、入社した頃の昭和43年代も昨今の様に思い出されます。あれから46年も経過したんだ。これから先の事を考えると、10年が長い様に感じられる今日この頃です。

入社3年後、労働組合の幹部に選出され、多くの仲間と知り合いになりました。この事が何かにつけ自信と励みになりました。組合での活動は編集委員として、東京電気労働組合大仁支部“あゆみその30年”に纏めさせて頂きました。

当時、何かこの会社には欠けている、新製品開発にしても然り、そうだ東芝と同じ様な研究所がこの会社にはないんだ。その頃、同期の仲間と共に会社トップによく進言したものです。その甲斐あってか、昭和57年（入社後14年目）三島工場内に、技術研究所がオープンしました。技術屋としては本当に嬉しかったものです。

その後は、高度経済成長の波に乗り、会社は大



2010-0719～1109夏樹四国

きく発展しました。

バブル崩壊と共に、リストラの嵐にも遭遇し、東京電気(株)・(株)テック・東芝テック(株)と社名変更し、三代に亘って仕事をさせて頂きました。

平成13年8月（34年間勤務）役職定年を迎え、東芝テックを退職し、縁あって(株)小林スプリングに入社しました。同社幹部として8年間勤務、その間中国工場の責任者を2年経験し、平成21年10月末（64歳）退職し、5年前より年金生活の身となり現在に至っています。

妻との思い出は、平成13年8月3日富士登山にてご来光を拝み、5年位前から始めた四国88ヶ所霊場巡りを完遂し、今年5月28日高野山へ報告に参りました。更には式年遷宮後の伊勢神宮に参拝しました。

昨年“終の棲家”を手に入れ、裏庭に石庭を再現して、我が人生を振り返りながら穏やかに余生を過ごしています。



2014-6月裏庭造り

近況報告（三浦半島探索） ～上瀨哲郎さん～

東芝・東芝テック40数年間、一途なサラリーマン生活を卒業し、早5年。

第二の人生に順応するのに戸惑いながらも、振り返ればあっと言う間に過ぎた日々でした。

退職後、偶には気の合う仲間と好きなゴルフを、懇親会を、その他海外旅行など等。

又、健康維持の為、ウォーキングにジム通い等で適当に時間つぶしの平々凡々な生活が中心であった。が、ある時、家内から当地（横須賀市）に引っ越してから20数年になるけど、この街（三

浦半島）の素晴らしさ何を知っているの？との問いから、住んでいる地域に目を向け、家内と言われるまま、気が向くまま、暇な時に車で出かけ三浦半島の探索を始めました。まだ駆け出し程度ですが、今まで認識していなかった三浦半島の表情を皆様に少し紹介したいと思います。

まず半島の東側は浦賀水道を隔てて房総半島まで最短距離（観音崎⇄富津岬）で6.5km。

久里浜港から金谷までフェリーで約40分。平日早朝の金谷行きフェリーはゴルフクラブ担いだ

リタイア組ゴルファーが大勢乗船（異様？な風景新発見）。房総半島でのプレー後、帰りは一般観光客を含め船内は大賑わい。

この狭い東京湾を往来する大型船（タンカー、LNG船、コンテナ船、自動車運搬船など）を眺望しながら、ウインドサーフィンを楽しむ人々（写真1）がほぼフルシーズン見受けられる。又、三浦海岸は夏の海水浴場として良く知られていますが、意外と初日の出を拝む（写真2）場所としても素晴らしく、その傍らで三浦大根の天日干し（写真3）も冬の風物詩かもしれません。

次に半島の西側は相模湾に接し、入り江を利用した漁港や有名なマリーナ、海水浴場が数多く存在し、夏場は海も道路も大混雑ですが、ちょっと穴場的海水浴場として油壺湾近辺の荒井浜でハワ

イアンムード（写真4）を楽しめるところも有ります。又、佐島地区の天神橋近くの自然海岸（佐島公園）からはウミネコやウミウ（写真5）などの野鳥を観察する事も出来ます。その他ダイコン、キャベツ、スイカなどの各種野菜も豊富でミカン、イチゴ狩りなども楽しめ、何と云っても天候の良い日（特に冬季）には雄大な富士山を眺める事が出来ます（写真6）。

これからも探索を続け、更なる地元の理解を深めて行きたいと思っています。又、趣味の月一程度のゴルフも継続しながら、健康維持と3度目のHIOを夢見て楽しんで行きたいと思っています。

最後に皆様のご健勝と東芝テック（株）の更なるご発展を祈願しております。



(写真1) ウインドサーフィンを楽しむ人々



(写真2) 初日の出を拝む



(写真3) 三浦大根の天日干し



(写真4) 油壺湾近辺の荒井浜でハワイアンムード



(写真5) ウミネコやウミウ



(写真6) 天候の良い日(特に冬季)には雄大な富士山

照明器具の開発と共に 54 年

～市川 充二さん～

今年は東海道新幹線開業 50 周年（1964 年 10 月 1 日開業）になります。

私は、それより 4 年前（1960 年 3 月 21 日）、東京電気株に入社し、大仁工場灯器技術課に配属となり社会人としてスタートしました。入社 2 年目の後半から電車・車両の照明器具の開発・設計の仕事を担当し新幹線 0 系車両の室内照明器具の開発に携わる幸運に恵まれました。

そこでは、JR（旧国鉄）の担当技官の下に、照明器具メーカー関東 5 社（東芝・日立・三菱・小糸・森尾）が集まり、デザイン、明るさ、施工性、メンテナンス性を中心テーマとして開発を進めました。

各社が、自社プランを提案、東芝(案)として提案した私の設計(案)が日本初の新幹線車両に採用されました。

それ以降も日本の高度経済成長と共に、山陽新幹線、東北上越新幹線の照明器具の開発に係りました。

東北上越新幹線用照明器具においては、110 ワットの蛍光灯を使用した照明器具を開発し、本器具の“連結取り付構造”を特許提案し登録され、本特許に対して「関東地方発明表彰静岡県支部長賞」を戴く事が出来ました。特許提案出来る製品開発は私の仕事の中で大きな喜びの一つです。

この他にも戦後の初の国産飛行機YS-11。東京メトロの車両。首都圏私鉄各社の車両照明器具の60%以上の照明器具の設計に参画してきました。

これらの車両用照明器具の開発・設計の経験により、“新しい物を創造・開発する”と言う、仕事への考え方のベースを築きました。

お客様の要求実現を第一に照明器具の開発・設計一筋に54年間歩続けています。

今、LEDを使用した照明器具の市場要求は凄いスピードで広がりを見せています。

LED照明器具の最大のメリットは、省エネルギーの実現と共に、明るさのみならず、光りの色を変化させることが出来るようになりました。従来の蛍光灯照明器具では実現できなかった事を実現する可能が広がったことです。これにより、開発



O系新幹線



新幹線室内照明器具

する楽しみが倍増しています。

現在は、静岡県大手地方銀行本店ビル様に使用する照明器具の開発プロジェクトをはじめ、施主・設計事務所・ゼネコン・サブコンからの多種なご要求の実現に取り組んでいます。

東芝テック(株)(旧東京電気(株))を退職、東芝ライテック(株)に移籍後、2004年62歳で「市川技研」を立ち上げ、現在に至っています。

本年、2014年の「市川技研」の行動指針として、3つの事を掲げています。

1. 希望のある世紀とするために、仕事を通して社会に貢献し、平和と安全な社会を築く。
2. 全ての人と信頼をベースに、新しいアイデアで物事に取り組み、存在価値を高める。
3. 海外の動きに対応し、仕事・文化などグローバルに研修し、地球人としての存在価値を創る。

特に3つ目では妻と共に“アラスカ英会話サークル”を運営し、仲間共に楽しみを共有しています。

体調に留意をしつつ、これからも新しい挑戦をしていきたいと思えます。



アラスカ英会話サークル
三島市生涯学習センターにて(右端)

放送大学と私 ～寺田 雄三さん～

放送大学は設立30年の歴史を有し、テレビ・ラジオ・インターネットで学ぶ通信制大学です。全国各県の学習センターでビデオ学習、ゼミ、面接授業が受講でき、自分の都合の良い時に学習できる便利さがあり、現在6コース、300科目、9万人の学生が学んでいます。その内容は学習・客員教授のセミナー、学生相談、面接授業などが主なものです。通信制大学は、国公立大学名誉教授・放送大学客員教授の「生の授業」が受講でき

4年以上在学し、所定の試験に合格し単位を修得・卒業すれば学位を取得できるものです。

静岡学習センターは、三島長陵高校2Fにあり2,000名の在学学生を擁し、面接授業で指導される教授は、静岡大学の名誉教授・博士が多く、ゼミ・面接授業で諸先生から直接指導をうけ、知的欲求、学ぶことの喜びを深く知り卒業した受講者はさらに別コースで学ぶりリピート学生が多く、まさに生涯学習時代に即応した大学です。

私はテック関連会社を61歳で退職、その後放送大学に籍を置き、ハローワークの紹介で平日は働き、土日中心に学習センターで学び10年かけ「人間の探求」を卒業、学位取得後、更に「社会と産業コース」を選択再入学しました。経済のグローバル化・経営等学び続けて「伊豆地域におけるグローバル化」の問題研究を卒業論文テーマに設定。受け身の学習ではなく自ら調査・研究を進め2度

目の卒業を果たしました。

今おかれている中小製造業が、世界相手のグローバル競争に如何に生き残れるか、余りにも厳しい現実に対してどう向き合っていくかという課題があります。

傘寿を過ぎた現在、学んだ知識と仕事の経験を活かし、地域社会に貢献できればと考え現在も実践を続けています。

私の近況報告 その2

～昭和44年本社採用入社 大本 潔さん～

趣味はゴルフとカラオケで、ゴルフは最近、全日不動産協会兵庫青年部チャリティコンペが六甲国際ゴルフクラブで行われ特別参加して何とか準優勝できました。2年前も特別参加で優勝させていただき賞品を沢山頂きました。

カラオケは演歌、フォークソング、J-POPなど比較的新しい曲をいろんな場で、歌わしています。

昨年より、神戸のボーカルスクールに月2回通い好きな歌を教えていただいています。奥の深いことを実感しております。まだまだ歌いたい歌が次々でてきますし、邦楽も習いたいと思っています。実は当社の社員にオペラを本格的に5年以上習っている社員がいますが、いつもいい歌を聴かされています。

芦屋市で事業を起こしたので、H18年10月より芦屋川ロータリークラブの会員として入会し、国際ロータリアンとなりいろんな活動をしてきました。例えば世界がもし100人の村だったら75人が自然災害の危険にさらされています。

災害で亡くなる100人の内90人以上は貧しい国の人です。洪水や高潮で水浸しになる家に住んでいるのは7人です。

4人はアジアの人です。100人の内26人は電気が使えません、18人はきれいで安全な水が飲めません。

ロータリアンの4つのテストを学び異業種交流により事業家同士の友人を増やし共に社会奉仕していく場として勉強にもなりました。6年間いろんな奉仕活動に参加してきましたが、年間数十万円の年会費の一部しか寄付にあてていないこと、ほとんどの会費が自分たちの食事代、一流ホテルの会議室代、旅行代、事務所経費に使用しており疑問を感じて退会いたしました。在席時は全員でタイにコンテナで500台の自転車を遠距離通学の

子供たちに毎年贈りました。

私は東日本大震災以来、日本の中で生活保護者などが増え続け、若者にフリーターが増え、子供は親に虐待されて養護施設に預けられている子供が増え続けていることを目の当りにして考えさせられました。

一緒に退会した3名の事業家たちと、新たに「勇士の会」を發起して会費のすべてを海外ではなく日本の養護施設に寄付することにしました。昨年は兵庫県の淡路島にある養護施設のクリスマス会では29名の子供たちに一人一人に園長先生より事前に聞き取りして頂いた希望の品物を数週間かけて揃え、サンタクロースになって、多くの人の関わった品物を沢山の気持ちと願いをこめて、一人一人に手渡しで贈りました。子供たちは大喜びでした。

我々仲間はその一人一人の喜んだ笑顔がほしいのです。子供たちの笑顔を買って明日からまた1年頑張ろうという「気持ち」を頂いています。他に何もいらぬのです、子供達の中から1人でも2人でも将来の日本を背負って起つ人が生まれることを願うのです。また、子供達が希望と夢を持って前向きになってくれるだけでも、嬉しいのです。



私の近況報告 ～足立 仁さん～

定年退職して3年もたってしまい、この間何をしていたかを整理してみました。

定年した年に、自宅でできることはないかと考えホームページ制作のスクールに通い趣味の延長くらいの作業ができるようになりました。

現役時代にはメカ設計屋でしたので、何もかもが新鮮で色々な思いを表現することを目指してみたのですが、一人で営業をやりながら仕事を探すのは大変なことで、数件の制作が完了したところでメンテ業務にとどまっています。

というのも、あるホームページを制作引き受けて制作したのですが、業務内容自体はいたって真面目なものなのですが、経営者がちょっと危ない関係の人らしいということを知って制作のみでメンテをお断りした物件を最後に新規を受けずにメンテのみを継続しています。

最近では、仲間に頼まれて飲食業のプロデュースらしいことをさせてもらうことになったのですが、これにはまってしまい、今では居酒屋の期間限定オーナーになっています。

たまたま、安全衛生講習を受けていて飲食業の申請ができる条件が整っていたために（代表として）色々な申請を進めていたのですが、設計の仕事をしていたということもあって、いろいろなアイデアを形にしてみたくなって、結局、自分で何でもやってみようということになりました。

もう一つには、資本金がなかったこともあるのですが。

座敷を解体してコンクリートの土間に改修することからスタートし、壁、天井、カウンターまでの自由空間を思い通りに改修して、トイレもインターネットに取り寄せた便器で自作、看板・暖簾も手作りの店を開業しました。

大工、水道・下水の配管、看板製作と意外に何でもできることが分かり、便利屋にでもなるかななんて思っているところです。

あとは、ホームページを開設して、営業が安定してきたら名義変更して完全に引き渡しをする予定です。

期間としては、1年位を見込んでいます。

主な自作品



天井看板



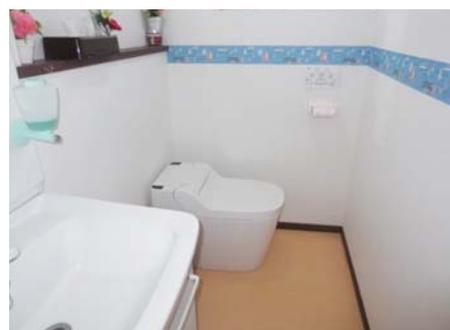
壁看板



のれん



カウンター



トイレ

会社の動き

2013 年度の事業概況について

当連結会計年度の世界経済は、欧州では景気に持ち直しの動きが見られ、米国では緩やかな景気回復が続き、アジアでは成長速度は鈍化したものの堅調に推移いたしました。また日本経済は、輸出の回復や経済対策・金融政策の効果などから、景気は緩やかに回復いたしました。

このような状況下におきまして、東芝テックグループは「グローバル・ワンストップ・ソリューション企業」を目指し、「グローバル化の加速」、「ソリューション・サービスの拡大」及び「高収益化に向けた企業体質改革」に鋭意努めてまいりました。

連結業績につきましては、平成 24 年 8 月 1 日付にて International Business Machines Corporation (IBM) より譲受けたリテール・ストア・ソリューション (RSS) 事業の業績が、年間を通して寄与したことなどから、売上高は前連結会計年度比 24% 増の 4,988 億 70 百万円、営業利益は前連結会計年度比 45% 増の 230 億 86 百万円、経常利益は前連結会計年度比 35% 増の 200 億 60 百万円、当期純利益は前連結会計年度比 15% 増の 71 億 33 百万円となりました。

役員紹介について (2014 年 6 月 27 日現在)

代表取締役 取締役社長	池田隆之 (社長執行役員)
取締役	山本雅人 (専務執行役員)・・・グローバルソリューション事業本部長 平田政善 (常務執行役員)・・・リスクマネジメント担当、財務部長 市原一征 (常務執行役員)・・・商品・技術戦略企画部長 竹谷光巨 (常務執行役員)・・・生産・調達統括センター長、品質・環境企画部長 丹黒 浩 (常務執行役員)・・・システムソリューション事業本部長 坂邊政継 (執行役員)・・・総務・法務担当、イノベーション推進部長 下光秀二郎 [社外取締役]
監査役	池田浩之 [常勤] 北野 寛 [常勤] 大内猛彦 [社外監査役] 松本俊彦 [社外監査役]
常務執行役員	松本敏史・・・グローバルソリューション事業本部副事業部長、プリンティングソリューション事業部長 財満冠典・・・システムソリューション事業本部東京支社長
執行役員	川崎順一・・・グローバルソリューション事業本部副事業部長、リテールソリューション事業部長 麻生伸一・・・IJ事業推進部長 谷嶋和夫・・・IT戦略システム担当、経営企画部長 野波英隆・・・グローバルソリューション事業本部営業統括責任者 川村悦郎・・・システムソリューション事業本部副事業本部長 松本幹一郎・・・システムソリューション事業本部関西支社長 鈴木道雄・・・商品・技術戦略企画部次長、リテールソリューション商品戦略室長 日吉武司・・・グローバルソリューション事業本部 ODM 事業部長、TSE 社取締役社長

※詳細内容は当社ホームページで参照願います。

支部ニュース

■三島・函南支部

●テックOB会 三島・函南支部総会開催される（支部結成7年を迎えて）●

支部結成から7回目の支部総会が平成26年5月14日に開催されました。

第一部 “さあ 図工の時間です”

参加者が蒲鋒板に思い思いの絵を書き、アートとして完成させる作業に15名が挑戦しました。できればどの作品も素晴らしいものでした。

審査の結果、優秀賞3点を岩本幹事が選び懇親会の席上で表彰しました。



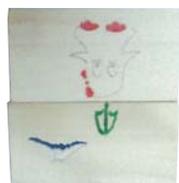
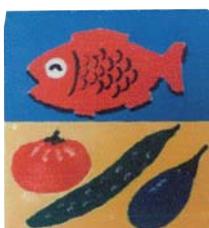
岩本幹事の説明



真剣に作品に挑戦する参加者



優秀作品の三点



完成した見事な作品の数々

第二部 総会に47名が参加

藤田支部長挨拶

テックOB会活動に対してのご支援・ご協力に感謝し、これからの活動に尚一層の参加を要請、入会者を増やすためにみなさんからの情報の提供をお願いしたい。

杉之内会長挨拶

支部制度のモデルとして、三島・函南支部が平成20年にでき7年目を迎えました。会員のご支援、ご協力に感謝します。

ただ課題は会員の減少です、今後会員の掘り起しをして是非加入されるようお願いしたい。

池田室長挨拶

全社の売上状況は好調に推移しています、さらに開発状況・新製品としてスマートレシート、IS910-Tなどの話があり、いまおかれているテックの状況について理解でき、参加者一同地変興味深く聞くことができました。



総会参加者のみなさん



司会の代田幹事



藤田支部長挨拶



来賓 池田総務室長挨拶



活動・会計報告する小河幹事



会計監査報告真野会員



西沢会員より寄贈された多くの陶器



H25年度活動記録と写真

第三部 懇親会に 49 名が参加、盛大に開催されました

最初に OB 会会員を代表して、高橋会員から「怪我をすると高齢者は大変です、怪我をせず健康に留意し安全な日々を送れるよう、お互いに努力していきましょう」と言う話に続いて、土屋会員のご発声で宴が始まりました。

宴のイベントとして、西沢会員より、高さ 30cm の大きな花瓶から箸置きに至る陶器 25 点が、寄贈されました、会場で籤引き抽選会が行われ、大いに盛り上がり久しぶり興奮しました。

“絆” はより一層強まったと思われる光景があちらこちらで見られ、時の経つのも忘れ 90 分の時間では足りないほど熱狂的でした。

特筆として、今まで活動に参加されなかった会員、4 名の方が初めて出席されたことは大変嬉しかった。



第三部司会の榊原幹事



高橋会員の挨拶



乾杯の音頭は土屋会員

賑やかな“宴”



締めは中島会員

《第 22 回 O B リレー首都圏ファミリーウォーキング》

東芝テック O B 会・東芝テックソリューションサービス O B 会 共催
旧江戸東京散歩・第十弾

《江戸の賑わい両国町歩きと江戸東京博物館見学の歴史ウォーク》

華やかな江戸の文化を色濃く残す両国。回向院、赤穂浪士討ち入りの舞台現場、吉良邸跡。
慰霊堂、江戸東京博物館など多面的に、お江戸両国を発見する歴史探訪コースです。



- ① 開催日時：平成 26 年 10 月 15 日（水）11：00～16：00
（当日、江戸東京博物館シルバーデー無料招待日のため雨天でも決行します。）
- ② 集合場所：J R 総武線・両国駅西口改札口
- ③ 集合時間：10：30 AM 受付開始～11：00 出発～
- ④ 参加対象：O B 及びその家族、知り合い友人をお誘い下さい。
- ⑤ 参加費：一人 300 円／家族単位 500 円
- ⑥ コース案内人：鎌田芳郎（東芝テック O B 会）
- ⑦ 予定コース：J R 両国駅西口（11：00 出発）～回向院～吉良邸跡～芥川龍之介・文学碑～勝海舟生誕の地～榛の木稲荷神社～江戸東京博物館 3 F 無料休憩所（12：00 昼食～13：00 出発）～東京都慰霊堂～旧安田庭園～江戸東京博物館（常設展示見学）～両国駅（16：30 解散）
（全コース：約 5 Km・・・8,000 歩）
- ⑧ 申込先・方法：下記幹事に E-mail 又は電話・FAX にて、住所、氏名、電話、最終所属をご連絡下さい。
- ⑨ 申込締切：平成 26 年 10 月 8 日（水）
- ⑩ その他：持参品：お弁当・健康保険証、雨具・・・
解散後希望者は両国駅近くで、ささやかな打ち上げ会を予定。

塚原 仁	TEL/FAX: 042-364-8397	E-mail ICK59860@nifty.com
鎌田芳郎	TEL/FAX: 03-3771-0057	E-mail kamayosi@zj8.so-net.ne.jp
TTSS O B 会	TEL: 03-5245-9001 FAX: 03-5245-3494	E-mail TTSS_OBkai@toshibatec.co.jp
吉田昭太郎	TEL: 0463-58-8610 FAX: 0463-26-3075	E-mail shotaro.yoshida@nifty.com

◎次回予告：平成 27 年 4 月 1 日（水）J R 総武線、千駄ヶ谷駅集合、第 23 回 O B 会首都圏ウォーキング・・・
《新宿御苑から明治神宮外苑～青山霊園～軍神乃木神社～六本木ミッドタウンをめぐる桜ウォーク》開催。

伊豆支部

●東芝テックOB会伊豆支部 第6回ウォーキング報告●

支部長 島崎準一郎

伊豆支部の平成26年度の行事として、去る6月6日（金）バスをチャーターしてあじさい祭りが開催されている下田に行きました。祭りの会場、下田城山公園内の山道を通り抜け、下田海中水族館前よりペリーロードと呼ばれる海岸歩道を通り了泉寺まで歩きました。当日は時折、雨のばらつく生憎の天気でしたが、咲き始めとはいえ、あじさいが一面咲き誇る中、風光明媚な景色を眺めつつ、お互いの健康や近況を話しながらの楽しいウォーキングでした。昼食は付近の「そばや」に入り祝杯をあげ充実した一日になりました。



参加者

原 宏義 片山 将 板倉 明 遠藤寛信
大川昭夫 島崎準一郎 内田 篤 月出祿久
杉山和義 土屋 守 鈴木 勲 飯塚輝芳
長谷川 清（夫妻） 佐藤好弘 以上15名

駿東支部

●H26年度総会報告●

支部長 東 高司

新緑も鮮やかな5月21日駿東支部の第6回総会が静岡事業所（三島）会議室をお借りして開催されました。総会には杉之内OB会会長も出席されOB会全体の活動状況が報告され、また会社の従業員数が減少傾向にある中でOB会会員の加入促進、全体総会への参加者増の要請等が話されました。会社を代表して出席頂いた池田総務室長様から会社の概況が報告されました。売上高、利益とも堅調に推移していること、IBMリテール事業を引き継ぎ新たな受注も獲得出来たこと、事業の更なる発展の為の商品開発やインク事業の設備増強等力強い説明をお聞きすることが出来ました。その後支部長から活動経過報告を、会計決算報告を大嶋会計幹事から、H26年度行事計画が支部長からそれぞれ提案され全員の賛成で承認されました。また本部規定により新たに会計監査担当として勝又幹事が選任されました。

総会の後、健康増進のため体育館に移動、室内ペタンク競技大会を実施しました。ペタンクはフランス発祥の競技で直径82mm、280gのソフト球を6メートル以上先の目標球またはサークルに投げて近さを競う簡単なスポーツです。みなさん初めての競技に戸惑いながらも競技とあって真剣に、しかしなかなか思うようにいかずに、和気あいあい1時間のゲームを楽しみました。3人1組で行いまして高得点を挙げた高橋妙さん、米田さん、大



ペタンク競技

嶋さんのチームが優勝しました。余韻も冷めやらぬ中で全員食堂に移動し懇親会を行いました。懇親会は恒例により石井幹事の司会、吉川さんの乾杯で始まりました。

季節の野菜作りに打ち込む人、お花作りで奉仕活動、病気と闘いながらも旅行を楽しんでいる方、器用な技量を見込まれ東芝ライテックの営繕仕事に忙しいとか、議員活動、教育委員活動の課題や果ては中国問題まで話題は多岐にわたり昔話にも花を咲かせました。

懇親会の途中で多忙のなか石井事業所長の飛び入り参加があり、懐かしい思い出話や労わりのお言葉を頂きました。またTTBや池田室長様初め会社の方々には大変なご協力を頂きお陰さまで無事・楽しく懇親会を行うことが出来ました。



近況報告

●御殿場 桜まつりウォーキング実施●

(駿東支部) 幹事 勝又・野際

御殿場に桜の名所として有名な秩父宮記念公園がある、また周辺には平和公園や東山湖など桜の名所が点在し道路も桜並木になっていて人気の観光コースになっている。

4月12日、毎年開催される秩父宮記念公園の桜まつりに合わせウォーキングを計画した。満開でタイミングは最高、天気にも恵まれてお孫さんや家族での参加などもあり総勢15名、JR御殿場線下土狩駅から出発した。途中の裾野駅からの2名が合流し御殿場駅乙女口に下車、午前9時よいよウォーキングスタート。コースは幹事が下見しておいた。広くて安全な大通りを歩くこと40分で最初の目的地、富士仏舎利塔平和公園に到着。園内にはソメイヨシノや枝垂れ桜など2000本の桜が植えられて見事な景観、何といても背景に富士山が聳え立つのが最高、近隣だけでなく東アジア地域からの観光客が多いのが目を引く。

少し下って次は秩父宮記念公園、既にお祭りで大勢の人で賑わっている。露店も並び美味しそうな食べ物匂いに引き寄せられそうだがともかくも有名な枝垂れ桜を観に奥へ進む。

満開の桜の大木が屋敷の前にも裏庭にも、庭園には季節の花が咲き裏山にはカタクリの花もあった。ここで昼食休憩、各々に弁当を食べたり露店で調達したり土産を捜したりした。

ここから西へ10分歩くと東山湖があり湖を囲むように桜並木が続く、一周してから帰路の御殿場駅へ。約2時間半の歩行、各々がウォーキングと桜を楽しむことが出来て満足。



平和公園



東山湖

事務局より

《会員の状況》(H25/10-H26/7)

☆新会員

小山田憲司さん、阿部哲朗さん、岡崎俊明さん、新耕志さん、青木康さん、池田宗明さん、梅野清伸さん、叶野直人さん、五木田正美さん、木口嘉宏さん、菅野勝博さん、川崎泰孝さん、海江田充弘さん、近藤雄次さん、齋藤衛さん、里深哲郎さん、須賀隆之さん、杉本和彦さん、渋谷邦弘さん、猿渡信二さん、椎田栄さん、滝田典夫さん、豊崎祐史さん、武田芳伸さん、長塚武昭さん、濱道良博さん、東田和憲さん、藤田豊さん、古山茂樹さん、向井秀雄さん、松田弘三さん、持田定義さん、村松和正さん、松本泰夫さん、水口祐三さん、山岸礼治郎さん、山本成一郎さん、山下寿一さん、渡辺広昭さん、佐藤英文さん、村上俊彦さん

☆逝去会員

堀田正視さん(H26/6)	松本健一さん(H26/5)	豊納健蔵さん(H26/1)	齊藤哲也さん(H26/1)
高田源一郎さん(H25/12)	狩野俊夫さん(H25/12)	近藤哲二さん(H25/12)	谷本満さん(H25/12)
佐藤久夫さん(H25/12)	高嶋照人さん(H25/10)	柏木敏生さん(H25/10)	山本敦さん(H25/9)
鈴木久夫さん(H25/9)	小田島和雄さん(H25/8)	山口傑さん(H25/7)	鈴木修さん(H25/7)

《年会費お振込みのお願い》

2013年度年会費(2千円)につきましては、2014年9月15日までにお振込願います。

注1. 終身会員の方(数え年85歳以上)は、年会費免除となります。

2. 昨年度(2012年度)以前に年会費未納がある方に対しては、2013年度年会費分と併せてお支払願います。

(郵便振込用紙の金額欄には、未納分と2013年度年会費分を併せた金額を記載しております)

《会員の広場原稿募集》

会員の皆様から原稿を募集しています。

「今、ハマっていること」や「旅の思い出」などどんなことでも結構ですのでふるって投稿して下さい。

◆文字数・・・400字程度

◆写真・・・写真等2枚程度(本人が写っている写真を必ず入れて下さい)

◆送り方・・・直接原稿を郵送していただくか、メールにて投稿して下さい。

《事務局変更》

2014年4月よりOB会事務局に1名(宮内昭吾)が加わりました。

微力ながら、OB会活動のサポートに誠心誠意努力する所存でございますのでご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。